

このスポット・おすすめ!

素材の新鮮な香りを閉じ込めた
カステラなどのお菓子をお持ち帰り
おかし工房よみたん



石窯で焼いたフワフワの生地
自家製パンやケーキも人気
昨年11月に「オキハム」構内に
オープンした、スイーツ&パンの
お店です。国道58号から見えると、
三角屋根をした沖縄黒糖のシヨ
ップの左奥。名実ともに知る人ぞ
知る名店として、ひそかに着実に
人気を伸ばしています。

主力商品の一番手は、素材が香り
立つ自家製カステラ。「石窯で焼き
上げたフワフワの生地を香りごと
保存してカットします。梱包にも匂
いが抜けにくい袋を使用している
ので、黒糖、シークワーサーなどの素
材の香りが、開封後まで持続しま
す」と教えてくれたのは、オキハム
取締役で同店チーフパティシエを
務める長濱徳洋さん。神戸の洋菓子
店で長年修業を積んだ腕によりを
かけ、独自の製法を開発しました。

焼き菓子では「えあちんすこう」
「バームクーヘン」も人気商品で
す。ちんすこうはホロツととろけ
る新食感が特徴で、味は黒糖・紅
芋・きなこ・塩の4種類。カステ
ラ同様、それぞれのフレーバー
の香りが際立ちます。

このほかシヨートケーキやシユ
ークリームなどの生菓子や、自家
製パンも販売。毎週木曜日が金曜
日に開かれる「パンの日」は、数十
種類のパンが並びも売れ切れ必須
の人気イベントになっています。

「お店は観光向け施設の隣にあり
ますが、地域の皆さんにもどん
どん使ってほしい。カステラなど
焼き菓子は、ちんすこうの手みやげ
に最適な商品です。」と長濱さん
5月は母の日に合わせてイベント
を予定しているとのこと。

住所 / 読谷村座喜味 2822-3
(オキハム構内)
電話 / 098-923-4355
時間 / 9:00 ~ 18:00
休み / 日曜日
※カステラ、えあちんすこうなどの焼き菓子は
隣接の沖縄黒糖ショップで購入可能)
駐車 / あり
(おもな商品)
・カステラ(黒糖、黒糖蜜、シークワーサー、
塩)通常サイズ...1080円
・えあちんすこう(黒糖・紅芋・きなこ・塩)
...378円
※詰め合わせ、地方発送も受け付けています



読者プレゼント

このスポット・おすすめコーナーで紹介の『お菓子工房 よみたん』で使える

2,000円分商品券 3名様



次のうち、太陽系惑星で一番大きい星は?

A. 土星 C. 木星
B. 金星 D. 天王星

4月号当選者 前号の答え(B. 雷)

- ★新田 仁さん(嘉手納町在住)
- ★金城 貴子さん(沖縄市在住)
- ★桑江 忍さん(北谷町在住)

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先 読谷村字伊良皆237-1 ウィンズ『広報誌係』

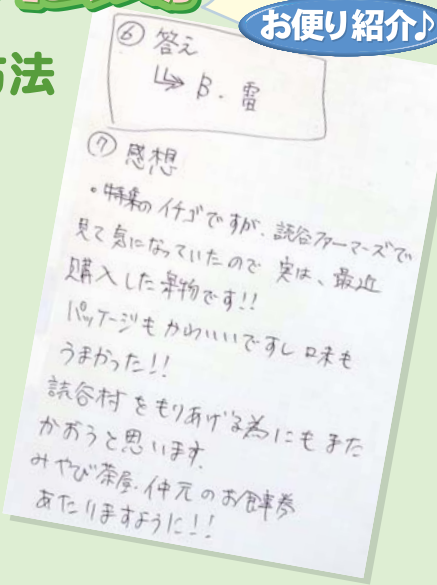
①住所 ②氏名
③年齢 ④職業
⑤電話番号

裏 ⑦ご意見 ⑧ご感想

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り 2018年5月20日消印有効
「当選者は次号(Vol.165)にて発表致します」

『Freshウインズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウインズ広報誌係)



Fresh ウィンズ

人と人とのつながりを大切に...池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌

60th Anniversary
Fresh Winds
2018年 5月号
Vol.164
TOKYO 2020



↑那覇市 役場 嘉手納町 名嘉病院 比新川 読谷高校 ファマリート おきなわ 道の駅 読谷事務所 名護市→

(株)池原建設 企画事業部ウィンズ
〒904-0303 沖縄県読谷村字伊良皆 237-1
営業時間 / 9:00 ~ 18:00 (年末年始を除く)

住宅のメンテナンスや
補修等のご相談は、お気軽に
スタッフへお声掛け下さい!

☎0120-229-512 ウィンズ 池原建設 検索

今月の歳時記

- 5月3日(木)~5日(土) 第44回 那覇ハーリー
会場・開催地/那覇港新港頭
- 5月3日(木)~6日(日) 沖縄こどもの国フェスティバル 2018
会場・開催地/沖縄市・沖縄こどもの国
- 5月19日(土)~の土・日 ピオスの丘ナイトツアー
会場・開催地/うるま市・ピオスの丘
- 5月20日(日) 第34回 読谷村ハーリー大会
会場・開催地/読谷村・宇座海岸

ゴールデンウィークは恒例の那覇ハーリーをはじめ県内各地でイベントがめじろ押し。連休後はジメジメ蒸し暑い季節がやって来ますね。猛暑にうんざりした昨年と比べて、今年はどうな夏になるのでしょうか。例年の梅雨入りは5月9日頃です。「母の日」は5月13日(日)。日頃の感謝を花やお菓子に込めて伝えましょう。





Street Story!

一枚の正方形の紙が見事な立体芸術に早変わり 世代を超えて楽しめる「折り紙」の魅力を見直し



毎月第2・4土曜日に開かれている「ありがみ教室」。リピーターも多く、この日は7組18名が参加。最後はできあがった作品を持って、ハイ、チーズ♪

折り紙は、老若男女を問わずその楽しさを共有できる「遊び」のロングセラーです。集中心・創意工夫を養うことができ、作品をつくり終えたときの達成感はひとしお。読谷村立図書館で「ありがみ教室」を担当する山内源徳さんに話を聞きました。



山内源徳さん

知育発育に有益な三拍子そろった遊び 教室では季節に合わせた課題を制作

ランドセル、万華鏡、季節の花々、ジャンピングカエル、自力で飛び上がるバツタ！これらはすべて、山内源徳さんが目の前でサササツと折り紙でつくってくれたもの。誰もが慣れ親しんだ15センチ角の紙を山折り谷折



4月の課題作品はランドセル。上達の早い子どもたちに負けじと、大人もついつい本気になったりして…？



「折り紙は子どもに限らず、大人やお年寄りにとってもいい遊びですよ。一回ごとに完結性があるって、集中心・創意工夫を養える。私はどこに行くとときでも折り紙を携えて、病院の待ち時間やバスの移動中に一人でせつせと制作に励んだり、飲み会の席でちよつとした腕前を披露して、それを肴に盛り上がったりにしています」。

源徳さんが講師を務める「ありがみ教室」は、読谷村立図書館で毎月第2・4土曜日に開催。かれこれ10年以上続いている人気の長寿講座です。今月ならランドセル、5月はこのほりや甲（かぶと）といった具合に、季節に合わせた課題作品を選び、参加者全員で折り進めていきます。子どもが両親や祖父母と一緒に参加するケースが多く、人数は平均4、5組、多いときで10組ほど。「もし誰も来なくても、一人で楽しんでいられるからとても気軽なんです（笑）」。

何年経ってもネタは尽き

ないほど、折り紙には多彩なレパートリーがあり、「以前はよく書店に足を運んで、折り紙集の中から面白そうな作品を物色していました。最近インターネット上に、織り方を解説する動画がたくさんアップされているから、複雑な作品でも習得するのがグンと簡単になりましたよ」とのこと。源徳さん自身の知識・技術も年々進化しているようです。



「教室に早く来た人には特別指導をします。頑張った分だけ得しなくっちゃね」と源徳さん

現役時代に仕事を通じて折り紙を習得 現在はたくさんの趣味で大忙し

源徳さんが本格的に折り紙を始めたのは、読谷村の職員時代。生涯学習を担当する部署に配属され、親子向けのレクリエーションを頻繁に実施することになり、さまざまな分野の講師と一緒に仕

事をする機会が増えました。その一つが折り紙で、現役中は業務の一環として作品づくりを学び、図書館館長に就任すると今度は教える側に回って、そのまま退職後も「仕事で得た知識を若い世代に還元していきたいから」と教室を受け持つことになりました。

生涯学習課では折り紙の他にも、さまざまな「遊び」を習得しました。例えば現在の源徳さんの名刺には、指導項目として「沖縄昔話（紙芝居語り）、低山トレッキング案内、郷土玩具制作・折り紙、PPバンドクラフトなど」と書かれています。これらはすべて、折り紙同様に仕事での体験を通じて詳しく学んだもので、その興味・関心は現在も継続中。当時出会った講師や同僚たちとも深い縁が生まれ、今なお交流が続いています。「日本レクリエーション協会公認レクコーディネーター」、「日本キャンプ協会公認キャンプデザイナー」の資格も取得しました。

「本当はインドア派」との言葉が疑われるほど、最近では「遊び」のスケジュールで大忙し。折り紙を含めて毎週3、4回は村内のサークル活動に顔を出し、「読谷野山ト



今年1月にトレッキングの仲間たちと、本部半島にある古巣岳（ふるしだけ）を訪れたときの一枚

上達の秘けつは誰かにあげること 折り紙を通じて人の温かみを伝える

話を折り紙に戻しましょう。折り紙が上手になるコツは、「作品は手元に残さず、必ず誰かに上げること。ほとんどの人には喜んでもらえるし、褒められなければ一人で勝手に自慢してやればいい（笑）。もっと喜んでもらうに

は休む暇なくつくらなければならぬし、そうやって手先をどんどん鍛錬していくんです。源徳さんの場合、孫たちへのプレゼントとしてはもちろん、食事やお酒を飲みに行つた先では必ず、その場で折って手渡しているそうです。

折り紙作品にはさまざまな種類があり、単純に飾るものからそれを使って遊ぶもの、複数枚を組み合わせてつくる立体的な作品まで幅広く、飽きることはありません。源徳さんの目の下の目標は「花笠づくり」。「既に折り方は手済み。制作過程はとて複雑だけれどぜひチャレンジしたい」と意気込んでいます。



親子と一緒に共通の課題に向き合える時間はとても有意義

折り紙を誰かに教えるという行為は、目と口と手を使って情報を共有する、いわば伝承の世界。「大人も子どもも、パソコンやスマートフォンを使う時間が年々増えているからこそ、人と人、親と子が向き合つて何かを伝え合うことが大切だと思っんです。折り紙がその一つのきっかけになって、人の温かみが相手に伝わり、世界を広げてあげることができればうれしいですね。ちよつぱり懐かしさを覚えた読者の皆さん、遠い子ども時分を思い出して、久しぶりに折り紙を手にとってみませんか？

